

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公表番号】特表2007-516686(P2007-516686A)

【公表日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-533093(P2006-533093)

【国際特許分類】

H 02 J 17/00 (2006.01)

H 01 M 10/44 (2006.01)

H 04 B 5/02 (2006.01)

【F I】

H 02 J 17/00 A

H 01 M 10/44 Q

H 04 B 5/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベースステーションと、アンテナを含む遠隔ステーションと、電力貯蔵装置とを配備し、

約2.4ギガヘルツから約5.0ギガヘルツの第1周波数範囲内、又は、10.0ギガヘルツから66.0ギガヘルツの第2周波数範囲内のRF周波数で、前記ベースステーションから空間中にエネルギーを送信し、

送信されたエネルギーを前記アンテナを介して前記遠隔ステーションで受信し、

受信したエネルギーをDC電力を変換し、

前記DC電力を用いて、前記電力貯蔵装置にエネルギーを与えることを含んでおり、

前記アンテナは、前記アンテナの有効面積が前記アンテナの物理的面積よりも大きくなるように、特定の電極寸法と特定の電極間寸法とを用いて形成されたLCタンク回路を含んでおり、

前記アンテナは、非導電性基板の上にプリントされており、

前記アンテナは、特定のキャパシタンスを有する材料のフィルムで覆われている方法。

【請求項2】

前記電力貯蔵装置は、携帯用のワイヤレス・フィデリティ・プロダクトに連繋されることを含んでいる請求項1の方法。

【請求項3】

前記遠隔ステーションは、幅が約12インチ未満、長さが約12インチ未満、厚さが約2インチ未満である請求項1の方法。

【請求項4】

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトを含んでいる請求項1の方法。

【請求項5】

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトの構成要素である請

求項 1 の方法。

【請求項 6】

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトに連繋され、前記ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトにエネルギーを与えるように構成されている請求項 1 の方法。

【請求項 7】

前記アンテナは、電子チップに形成されている請求項 1 の方法。

【請求項 8】

前記遠隔ステーションは、前記アンテナと、前記受信したエネルギーを前記DC電力に変換するための回路とを具えるモノリシックチップアッセンブリを有している請求項 1 の方法。

【請求項 9】

約2.4ギガヘルツから約5.0ギガヘルツの第1周波数範囲内、又は、10.0ギガヘルツから66.0ギガヘルツの第2周波数範囲内のRF周波数で、空間中にエネルギーを送信するように構成されているベースステーションと、

アンテナを含んでおり、送信されたエネルギーを前記アンテナを介して受信し、受信したエネルギーをDC電力に変換して、前記DC電力を電力貯蔵装置に与えるように構成されている遠隔ステーションと、を具えており、

前記アンテナは、前記アンテナの有効面積が前記アンテナの物理的面積よりも大きくなるように、特定の電極寸法と特定の電極間寸法とを用いて形成されたLCタンク回路を含んでおり、

前記アンテナは、非導電性基板の上にプリントされており、

前記アンテナは、特定のキャパシタンスを有する材料のフィルムで覆われている装置。

【請求項 10】

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトを含んでいる請求項 9 の装置。

【請求項 11】

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトの構成要素である請求項 9 の装置。

【請求項 12】

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトの電力貯蔵装置に連繋され、その電力貯蔵装置にエネルギーを与えることができるよう構成されている請求項 9 の装置。

【請求項 13】

前記遠隔ステーションは、前記アンテナと、前記受信したエネルギーを前記DC電力に変換するための回路とを具えるモノリシックチップアッセンブリを有している請求項 9 の装置。

【請求項 14】

前記電力貯蔵装置は、携帯用ワイヤレス・フィデリティ・プロダクト用の電力源である請求項 9 の装置。

【請求項 15】

アンテナと、

約2.4ギガヘルツから約5.0ギガヘルツの第1周波数範囲内、又は、10.0ギガヘルツから66.0ギガヘルツの第2周波数範囲内のRF周波数の周囲エネルギーを、電力貯蔵装置にエネルギーを与えるためのDC電力に変換するように構成されている回路と、を具えており、

前記アンテナは、前記アンテナの有効面積が前記アンテナの物理的面積よりも大きくなるように、特定の電極寸法と特定の電極間寸法とを用いて形成されたLCタンク回路を含んでおり、

前記アンテナは、非導電性基板の上にプリントされており、

前記アンテナは、特定のキャパシタンスを有する材料のフィルムで覆われている装置。

**【請求項 1 6】**

前記アンテナは、電子チップに形成されている請求項 1 5 の装置。

**【請求項 1 7】**

約 2 . 4 ギガヘルツから約 5 . 0 ギガヘルツの第 1 周波数範囲内、又は、1 0 . 0 ギガヘルツから 6 6 . 0 ギガヘルツの第 2 周波数範囲内の R F 周波数の周囲エネルギーを、アンテナを介して遠隔ステーションで受信し、

受信した周囲エネルギーを D C 電力に変換し、

前記 D C 電力を用いて、電力貯蔵装置にエネルギーを与えることを含んでおり、

前記アンテナは、前記アンテナの有効面積が前記アンテナの物理的面積よりも大きくなるように、特定の電極寸法と特定の電極間寸法とを用いて形成された L C タンク回路を含んでおり、

前記アンテナは、非導電性基板の上にプリントされており、

前記アンテナは、特定のキャパシタンスを有する材料のフィルムで覆われている方法。

**【請求項 1 8】**

前記アンテナは、電子チップに形成されている請求項 1 7 の方法。

**【請求項 1 9】**

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトの構成要素である請求項 1 7 の方法。

**【請求項 2 0】**

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトを含んでいる請求項 1 7 の方法。

**【請求項 2 1】**

前記遠隔ステーションは、ワイヤレス・フィデリティ・プロダクトに連繋されている請求項 1 7 の方法。

**【誤訳訂正 2】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**0 0 1 8

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【0 0 1 8】**

<望ましい実施例の説明>

この明細書で使用する「ワイヤレス・フィデリティ・スタンダード(wireless fidelity standards)」という語は、Institute for Electrical and Electronic Engineers(IEEE；米電気電子技術者協会)のネットワークに対する技術規格を意味し、その規格として、802.11a(5 . 0 ギガヘルツ)、802.11b(2 . 4 ギガヘルツ)、802.11g(2 . 4 ギガヘルツ)、802.16(1 0 . 0 ~ 6 6 . 0 ギガヘルツ)、802.20(3 . 5 ギガヘルツ未満)及びブルートゥース(2 . 4 ギガヘルツ)と、各規格の後に付した丸括弧に示す関連周波数を含むが、これらに限定されるものではない。本発明における望ましいワイヤレス・フィデリティ周波数は、約 2 . 4 ~ 5 . 0 ギガヘルツの範囲である。

**【誤訳訂正 3】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**0 0 3 1

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【0 0 3 1】**

本発明の遠隔ステーションを作製する他の方法は、アンテナと、機能的に完全な遠隔ステーションを作製するのに必要な全ての回路とをプリントすることにより行われる。プリント回路基板のアンテナは、図 3 a 及び図 3 b に示されるように、その物理的面積よりも大きな有効面積を有しており、以下のように作られる。

a . アンテナは、適當なキャパシタンスの基板で被覆されるか又は前記基板の上に堆積されたときに、L C タンク回路が形成されるように、特定の電極寸法及び特定の電極間寸法(414)を用いて構成される。

b . アンテナは、商業的に入手可能な導電性組成物(例えば、導電エポキシ、導電インク等)を用いて、非導電性基板(プラスチックフィルム、ガラス等)(401)の上にプリントされる。電極構造(414)は、例えばインクジェット、シルクスクリーン等の標準的なプリントティング技術を用いてプリントされる。

c . 特定キャパシタンス及び絶縁特性を有する材料のフィルム(412)が、アンテナの上面にプリントされる。このフィルム(412)はアンテナに設けられて、L C タンク回路が得られる。